



## 2023年12月期 第2四半期決算短信 [日本基準] (非連結)

2023年8月10日

上場会社名 **大和重工株式会社** 上場取引所 東  
コード番号 5610 URL <https://www.daiwajuko.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 宏典  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 企画管理本部長 (氏名) 大津 雅明 TEL (082) 814-2101  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第2四半期の業績 (2023年1月1日～2023年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	1,972	9.6	△ 17	—	46	—	33	—
2022年12月期第2四半期	1,799	35.6	△ 92	—	△ 34	—	△ 35	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2023年12月期第2四半期	25.	23	—	—
2022年12月期第2四半期	△ 26.	69	—	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
2023年12月期第2四半期	6,461		2,865		44.3		2,176.	32
2022年12月期	5,971		2,496		41.8		1,896.	41

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 2,865百万円 2022年12月期 2,496百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

(注2) 当社は、定款において中間配当及び期末配当の配当基準日を定めておりますが、現時点では期末配当の当該基準日における配当予想額は未定であります。

### 3. 2023年12月期の業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	4,400	13.8	10	—	140	121.9	90	27.2	68.	36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年12月期 2 Q	1,358,000株	2022年12月期	1,358,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期 2 Q	41,494株	2022年12月期	41,494株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年12月期 2 Q	1,316,506株	2022年12月期 2 Q	1,316,506株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は【添付資料】P.3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(会計上の見積りの変更) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが5類感染症に引き下げられたことで行動制限の緩和が進み、経済活動の回復傾向が続きました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化を一因とする原材料価格及びエネルギー価格の高騰や、深刻な人手不足など景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は利益の確保のため、生産性の向上や経費の削減に取り組むとともに受注・売上の拡大に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は19億72百万円（前年同期比9.6%増）、営業損失は17百万円（前年同期は営業損失92百万円）、経常利益は46百万円（前年同期は経常損失34百万円）、四半期純利益は33百万円（前年同期は四半期純損失35百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### 〈産業機械関連〉

日本工作機械工業会による工作機械主要統計では2023年1月から6月までの工作機械の受注累計額は7,684億円と、前年同期に比べ15.7%の減少となっております。

このような中、大型鋳物を得意とする当社の工作機械鋳物部品の同期間における受注高は前年同期比7.7%増の7億90百万円となりました。

ディーゼルエンジン部品の分野は、受注高は前年同期比54.7%増の2億45百万円となりました。

産業機械部品の分野は、活発な設備投資が継続しており、受注高は前年同期比205.4%増の77百万円となりました。

この結果、当セグメントの受注高は13億92百万円（前年同期比19.1%増）、売上高は11億6百万円（前年同期比19.7%増）となりました。

#### 〈住宅機器関連〉

昨年10月の入国制限の緩和による外国人観光客の増加や、今年5月の新型コロナウイルス感染症対策の行動制限の緩和により観光需要の回復が見込まれる中、住宅機器関連の分野は宿泊施設向けの営業を強化し、「鋳物ホーロー浴槽」や「やまと風呂」の拡販に努めてまいりました。

この結果、当セグメントの売上高は8億66百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債、純資産の状況

##### （資産）

当第2四半期会計期間末の資産合計は、64億61百万円となり、前事業年度末に比べ4億90百万円増加いたしました。この主な要因は、投資その他の資産の内、投資有価証券が4億75百万円増加したこと等によるものであります。

##### （負債）

負債合計は、35億96百万円となり、前事業年度末に比べ1億21百万円増加いたしました。この主な要因は、固定負債の内、繰延税金負債が1億39百万円増加したこと等によるものであります。

##### （純資産）

純資産合計は、28億65百万円となり、前事業年度末に比べ3億68百万円増加いたしました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金が3億35百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は44.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況について

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ92百万円増加して、8億19百万円となりました。

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、55百万円(前年同四半期は2億97百万円の支出)となりました。これは主に棚卸資産が1億88百万円増加した一方、売上債権が2億26百万円減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、36百万円(前年同四半期は36百万円の収入)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が9百万円及び投資不動産の賃貸による支出が9百万円あった一方、投資不動産の賃貸による収入が55百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の変動はありません(前年同四半期は1百万円の支出)。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月13日に公表いたしました2023年12月期の業績予想につきましては、2023年8月10日に「第2四半期の業績予想数値と実績数値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,147,218	1,239,444
受取手形及び売掛金	1,212,706	986,074
電子記録債権	131,839	132,127
商品及び製品	586,922	702,722
仕掛品	78,156	142,967
原材料及び貯蔵品	282,662	290,232
前払費用	2,223	2,543
未収入金	17	39
その他	1,067	613
流動資産合計	3,442,814	3,496,764
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	438,523	425,654
機械及び装置（純額）	164,961	139,559
土地	341,282	341,282
その他（純額）	73,453	74,598
有形固定資産合計	1,018,220	981,094
無形固定資産	3,556	2,877
投資その他の資産		
投資有価証券	1,275,605	1,751,101
投資不動産（純額）	154,869	152,018
その他	81,500	83,180
貸倒引当金	△5,150	△5,150
投資その他の資産合計	1,506,825	1,981,150
固定資産合計	2,528,603	2,965,122
資産合計	5,971,418	6,461,886

(単位:千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	725,287	725,341
短期借入金	1,700,000	1,700,000
未払法人税等	19,269	13,464
賞与引当金	14,000	14,000
その他	225,340	194,949
流動負債合計	2,683,897	2,647,755
固定負債		
繰延税金負債	108,491	247,870
退職給付引当金	536,613	552,827
役員退職慰労引当金	67,412	69,987
資産除去債務	19,087	19,019
長期預り敷金	59,285	59,285
固定負債合計	790,890	948,990
負債合計	3,474,787	3,596,746
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	651,000	651,000
資本剰余金	154,373	154,373
利益剰余金	1,368,390	1,401,609
自己株式	△34,746	△34,746
株主資本合計	2,139,018	2,172,237
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	357,611	692,903
評価・換算差額等合計	357,611	692,903
純資産合計	2,496,630	2,865,140
負債純資産合計	5,971,418	6,461,886

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,799,336	1,972,380
売上原価	1,550,900	1,615,151
売上総利益	248,436	357,228
販売費及び一般管理費	341,086	374,440
営業損失(△)	△92,650	△17,211
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	17,638	23,118
受取地代家賃	57,166	56,070
その他	1,545	3,257
営業外収益合計	76,355	82,449
営業外費用		
支払利息	6,347	6,561
不動産賃貸関係費	10,975	11,955
その他	533	704
営業外費用合計	17,855	19,221
経常利益又は経常損失(△)	△34,150	46,016
特別利益		
固定資産処分益	—	3,713
特別利益合計	—	3,713
特別損失		
固定資産処分損	—	5,920
特別損失合計	—	5,920
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△34,150	43,809
法人税、住民税及び事業税	987	10,103
法人税等調整額	—	486
法人税等合計	987	10,590
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△35,138	33,218



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△34,150	43,809
減価償却費	58,567	51,050
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,000	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	15,692	16,213
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△4,850	2,575
受取利息及び受取配当金	△17,642	△23,122
支払利息	6,347	6,561
有形固定資産処分損益 (△は益)	—	2,207
投資不動産賃貸収入	△56,215	△55,154
投資不動産賃貸費用	10,975	11,955
売上債権の増減額 (△は増加)	△155,956	226,343
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△88,290	△188,180
仕入債務の増減額 (△は減少)	△34,882	53
未払消費税等の増減額 (△は減少)	5,022	△45,329
その他	△11,931	3,964
小計	△306,315	52,948
利息及び配当金の受取額	17,640	23,119
利息の支払額	△6,356	△6,634
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,135	△14,190
営業活動によるキャッシュ・フロー	△297,167	55,243
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△120,000	△120,000
定期預金の払戻による収入	120,000	120,000
投資有価証券の取得による支出	△1,318	△1,311
役員保険積立金の積立による支出	△1,840	△1,680
役員保険積立金の解約による収入	5,288	—
有形固定資産の取得による支出	△13,755	△9,789
有形固定資産の売却による収入	—	3,713
投資不動産の賃貸による収入	56,215	55,154
投資不動産の賃貸による支出	△7,969	△9,105
投資活動によるキャッシュ・フロー	36,619	36,982
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△1,030	—
配当金の支払額	△2	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,032	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△261,580	92,225
現金及び現金同等物の期首残高	856,608	727,218
現金及び現金同等物の四半期末残高	595,027	819,444

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。